

見かけの動的接触角と局所の動的接触角

大阪大学工学研究科機械工学専攻 大森健史

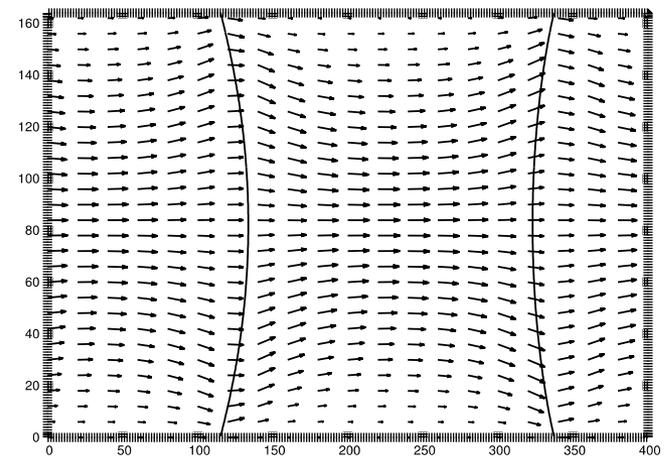
高解像度の数値解析により、見かけの動的接触角と局所の動的接触角の違いについて調べた。先行研究において提案されて現在よく用いられている動的接触角の実験式には一般性や物理的正当性がないこと、見かけの動的接触角には測定法の違いによる有意な差が生じることを明らかにした。

利用した計算機

ノード時間
使用メモリ
並列化

VCC

約3500時間
1GB未満
ノード内並列



流速分布の一例